

台風12号に対する災害対応について

平成23年台風12号に伴う大雨により、奈良県、和歌山県等においては、洪水氾濫、土砂崩れなどが発生し、大きな災害となりました。

近畿地方整備局では9月1日11時に「注意体制」を発令すると同時に近畿地方整備局風水害対策本部を設置し、9月2日13時には「警戒態勢」に移行、同日夕方には紀宝町に排水ポンプ車、新宮市に排水ポンプ車、照明車及び災害対策現地情報連絡員（リエゾン）を派遣、その後各地に災害対策用機械、災害対策現地情報連絡員を派遣し災害対応にあたり、9月4日1時50分には、熊野川の越水等により甚大な被害が発生し、今後も拡大することが予想されたため「非常態勢」に移行しました。

以下に今回の災害に対する近畿地方整備局等の対応について、これまでの状況をお知らせいたします。

■災害対策現地情報連絡員（リエゾン）の派遣

平成23年11月29日現在 189人（他地整等7人含む）、のべ1,315人・日を13自治体に派遣しています。

■緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）の派遣

自治体からの要請を踏まえ、被災箇所の迅速な復旧及び安全確保を支援するため、9月4日から全国（近畿地整、他地整、国土技術政策総合研究所、土木研究所）の緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）608人（他地整等389人含む）のべ4,423人・日（平成23年11月29日現在）を被災自治体に派遣し、被災状況の調査、復旧方針等の技術的な支援及び助言等を行いました。

■災害対策ヘリコプターの派遣

全国に8機ある災害対策ヘリコプターのうち7機を集結し、被災状況等の調査、河道閉塞の監視等を行いました。

■災害対策機械の派遣（全国から集結）

排水ポンプ車（浸水箇所の排水に活躍）、照明車（夜間照明に活躍）、衛星通信車・Ku-SAT（台風12号により、通信回線が寸断された地域に対し、通信回線の確保と被災状況の映像配信に活用）による支援を行っています。

これまでに最も多い日で100台以上の災害対策機械を派遣し、その数は、11月29日現在、のべ約3,600台・日となっています。

被災概要 人的被害・住家被害の状況



都道府県名	人的被害			
	死 者	行方不明者	負傷者	
			重 傷	軽 傷
三重県	2	1	5	10
奈良県	14	10	3	1
和歌山県	52	5	2	4
三県合計	68	16	11	15
その他	10	0	17	62
全国総計	78	16	28	77

都道府県名	住家被害				
	全 壊	半 壊	一部破損	床上浸水	床下浸水
	棟	棟	棟	棟	棟
三重県	84	1,087	69	677	834
奈良県	47	37	5	38	25
和歌山県	235	1,739	89	2,666	3,138
三県合計	366	2,863	163	3,381	3,997
その他	5	44	79	2,276	15,155
全国総計	371	2,907	242	5,657	19,152

出典:消防庁 (第16報、11月2日17:00現在)を基に近畿地方整備局作成

紀伊半島被災概要



近畿地方整備局情報

奈良県 折立橋の応急復旧



台風12号による紀伊半島の土砂災害発生状況

緊急調査 規模の大きい河道閉塞(5箇所)については、土砂災害防止法(H22.11改正、H23.5施行)に基づき国による緊急調査を9月6日より実施。

大規模な土砂災害が急迫
【河道閉塞・火山噴火に起因する土石流、地滑り等】

河道閉塞・火山噴火に起因する土石流、河道閉塞による湛水といった特に高度な技術を要する土砂災害については国土交通省、地滑りについては都道府県が緊急調査を実施

緊急調査に基づき被害の想定される区域・時期の情報を「土砂災害緊急情報」を市町村へ通知→暫く間隔

市町村長が住民への避難を指示(災害対策基本法第60条)等

土砂災害から国民の生命・身体を保護

河道閉塞箇所		
県名	流域名	河道閉塞の確認場所
奈良県	熊野川(十津川)流域	五條市大塔町赤谷 野迫川村北股 (9月13日から対象に追加) 十津川村長股 十津川村栗平
和歌山県	日置川流域	田辺市熊野

緊急調査対象要件

■河道閉塞による湛水が発生原因とする土石流〈国土交通省が実施〉

- 河道閉塞(天然ダム)の高さが概ね20m以上ある場合
- 概ね10戸以上の人家に被害が想定される場合

■河道閉塞による湛水〈国土交通省が実施〉

- 河道閉塞(天然ダム)の高さが概ね20m以上ある場合
- 概ね10戸以上の人家に被害が想定される場合

■火山噴火に起因する土石流〈国土交通省が実施〉

- 河川の勾配が10度以上である区域の概ね5割以上に1cm以上の降灰等が堆積した場合
- 概ね10戸以上の人家に被害が想定される場合

■地滑り〈都道府県が実施〉

- 地滑りにより、地割れや建築物等に亀裂が発生又は広がりつつある場合
- 概ね10戸以上の人家に被害が想定される場合

台風12号に伴う紀伊半島における河道閉塞箇所



河道閉塞箇所の監視体制



近畿地方整備局情報

新宮川水系熊野川・相野谷川被害状況



国道168号 主な被災箇所



主要地方道那智山勝浦線 主な被災箇所



道路の応急復旧状況



近畿地方整備局情報

長殿・栗平における分解型重機の活用

■ 陸路による運搬路がないため、空輸による迅速な重機等の運搬が不可欠

■ 重機を空輸可能な大きさに分解して運搬し、現場にて組み立て

■ 重機を使うことで、作業効率を大幅に改善

■ 危険な現場においては無人化施行が可能

現在：0.1m³級油圧ショベル 2台
 1.0m³級油圧ショベル※ 2台 } 長殿地区
 0.45m³級油圧ショベル 4台
 0.45m³級油圧ショベル 12台 } 栗平地区
 0.1m³級油圧ショベル 2台

※1.0m³級油圧ショベル 中部地方整備局所有

■ 分解型油圧ショベルでは国内最大級(1.0m³級)

■ 今回初めて災害現場で活用

空輸

場外離着陸場 (上野地)

荷降し H

現場

① 13個のパーツに分割

② 分割運搬

③ 組立用クローラークレーン (カニクレーン)

④ 荷下ろし

⑤ 組み立て状況

⑥ 分解型油圧ショベル

※ 当該資料は速報資料であり、今後精査により変更がありうる。

国土地理院による被災地支援

■ 「くにかぜⅢ」による空中写真撮影・測量、写真の提供と「災害情報共有マップ」の公開

◇ 国土地理院は、台風12号による大雨災害地域について被災状況の把握等のため、9月6日及び7日に測量用航空機「くにかぜⅢ」による空中写真撮影・測量を実施。

◇ 被災自治体等へ撮影した空中写真を提供。

◇ 被害状況を集約した「災害情報共有マップ」を公開。
<http://www.gsi.go.jp/BOUSAI/h23-taihu12-index.html>

◇ 国土地理院の測量データを、土砂災害緊急情報に活用(河道閉塞の測量、氾濫シミュレーション等)

国土地理院所有 測量用航空機「くにかぜⅢ」

測量データを土砂災害緊急情報に活用

出雲市野野地区の空中写真

国土地理院HP公開の災害情報共有マップ

地方整備局等による支援活動の状況



被災状況調査



被災地に向かう災害対策ヘリコプター「さんき号」



衛星通信車による回線の確保



孤立集落アクセスルート被災箇所調査



孤立集落アクセスルート被災箇所調査



陸上からのアクセスが困難なためヘリにより
十津川村へ派遣



陸上自衛隊と共に救援物資等の仕分け作業に
TEC-FORCEが協力



十津川村周辺の地すべり等の
被害状況をTEC-FORCEが調査



執務室がないため廊下で活動



専門知識を持ったTEC-FORCEが
マスコミ対応を肩代わり



TEC-FORCE・リエゾンが役場で対応を協議